

①17 はたして JR東海は ディズニーランド になれるか？

2011. 5. 23

JR東海労東二運分会

いつもの 古い話しで恐縮ですが

3月に発生した、東日本大震災時の 東京ディズニーシーの様子を5月のはじめにテレビで放映していました。テーマは、7万人の命守った危機対応 3.11ディズニーの真実 だったでしょうか？

多分、皆さんもご覧になったと思います。しかも、総合点呼の様子を映したDVDの中で営業科長が詳しく説明し、絶賛していました。

科長は、ディズニーランドの全キャストの 9割がアルバイトで、そのキャストがゲストの安全確保のために マニュアルにはない自らの判断で行動した、と高く評価し私たちに、この様な意識を常に持つようにと強調していました。が、マニュアルはあったようです。JR東海には決してあり得ない、自らの判断で という。

ところで 皆さん 思いませんか？

さすがにディズニーランドです。この日、園内にいたキャストは1万人だったそうです。そして、当日の来園者はディズニーシーとあわせて7万人（多い時でも10万人と予想）だったそうです。お土産店やレストランなどを担当するキャストは屋内に居たとしても、何と7人のゲストに対して1人のキャストが対応出来る体制です。JR東海とは大違いのサービス体制をとっているのです。

JR東海の社員数は17000名ですが、駅ホームの体制を見ると悲惨な状態です。ホームの安全確認の全責任を車掌長と運転担当車掌が二人で負っているのが現実です。だから「列車監視不履行」に異常に反応するのです。しかも総合復旧訓練への参加者は、限られた人数だけです。定例訓練などは論外で、科長が、何と言おうとJR東海はディズニーランドにはなれない、と思いませんか？



言いましょう！ 要員を配置して テストをやめて 安全確立を！ と
「ダッフィーに 頭改られ キョロキョロと」 C D 頑 爺

(注・差し込み写真は Aさん所有のものを拝借しました ディズニーさん無断転用ごめんなさい)